



巻頭言 附属学校教育局長 山田由子

「高大連携・人材育成7年プロジェクト」を進めよう

国立大学の法人化を機に、あちこちで高大連携の動きが進んでいる。筑波大学においても、平成15年3月に出版された「附属学校改革推進委員会報告書」で、この課題に関して以下のよう

「大学が附属学校を活用する実験的・実証的教育研究の一環として、大学が求める学生の資質や能力に照らして、高等学校と大学の接続教育を視野に入れた連携も考えられる。そのために、附属高等学校から推薦入試生を活用する

また、このプロジェクトに、附属障害児学校(盲、聾、肢体不自由養護学校)が含まれていることも特色の一つである。これらの附属障害児学校には全国から生徒が集まり、優れた大学進学実績を挙げている。一方で、筑波大学は障害学生

今後は、これらの実績を整理し、「7年プロジェクト」をさらに推進するとともに、「中高大連携・人材育成10年プロ

特集 海外研修

海外視察旅行の報告

附属学校教育局 篠原吉徳

10名の附属学校の教員及び3名の附属学校教育局の指導教員、総勢13名の教員は、平成18年3月26日から4月1日まで

シカゴ大学附属実験学校(以下、実験学校)は、幼稚園(保育学校を含む)、小学校、中学校そして高等学校一貫でエリート教育を行うことにより、現在、その名

デュースの足跡(シカゴ大学教授を辞任して、ロンビア大学に移動)を辿るようにして、私たちは、3月31日には、

研修期間が2週間、シカゴ市訪問 1日目(3/27) シカゴ University of Chicago Laboratory School Hyde Park Day School

Table with 3 columns: 日程, 訪問都市, 訪問場所. It lists the itinerary for the overseas study trip, including visits to Chicago, Nashville, and New York.

が設けられ、国際交流ができたことは、意義深いことであった。

ワグンダービルト大学は、US News & World Reportが2006年3月に発表した教育系一特殊教育部門一大学院ランキングにおいて、第1位に列せられている。ワグンダービルト大学を訪問(大学の所在地は、テネシー州の州都、ナッシュビル)して、US News & World Reportのラン



Table with 2 columns: 内容. It provides details about the content of the study trip, including reports on the experimental school and special education.

CONTENTS

- 巻頭言 「高大連携・人材育成7年プロジェクト」を進めよう ●山田由子
特集「海外研修」 海外視察旅行の報告 ●篠原吉徳
2つの教育研究学校を訪ねて ●山口 剛
附属学校教育局・アメリカ海外研修へ参加して
研究発表会・研修会
平成17年度筑波大学附属学校研究発表会 ●石隈利紀
平成17年度春期研修会報告 ●江口勇治
ご挨拶
国府台・大塚・筑波からアジアへの発信を ●齋藤佐和
新任ご挨拶 ●中村 徹
ご挨拶 ●四日市 章
附属桐が丘養護学校に就任して ●安藤隆男
名物先生紹介
附属中学校の名物先生一角田陸男先生 ●山口 正
退故知新
筑波大学附属小学校校史資料室 ●山下真一
TOPICS
参議院文教科学委員会、附属盲学校を視察 ●梅原無石
韓国学校の施設設備に感心! ●吉沢洋子

●退故知新 「ポロニア」とは、「前」の属名であり、Palaoniaと綴る。本誌を「ポロニア」と名づけたのも、筑波大学の前身に「五